美波　地方創生だより　vol.17

地方が直面する様々な問題に、真っ向から立ち向かおうとする小さな町の挑戦 ――
５カ年計画の後半期を迎えた「美波ふるさと総合戦略」は、今や地方創生のホットワード「美波町モデル」として全国から注目を集めるようになりました。
ひとりひとりが自分事として、住民総参加で進めることを提唱した「美波ふるさと総合戦略」の取り組み、美波町ならではの地方創生を紹介していきます。

門前町活性化に弾みをつける、新スポットが誕生！

４月１日、薬王寺の門前町・桜町商店街の一角にオープンした複合施設「at Teramae（アット テラマエ）」。
地元の職人さん方の協力、指導受けながら元遍路宿をお洒落な空間へとリノベーションしたのは、昨年秋、日和佐ちょうさ保存会の冊子を制作した３人の若手クリエイターです。
大阪を拠点としたフリーランスでの活動を美波町で法人化、株式会社まめぞうデザインを設立した同代表のドウゾノセイヤさん（台湾出身・奥河内）。地元出身でアパレルをはじめ各種デザイン・映像制作などを行うHWS STUDIO 主宰の山崎一平さん（奥河内）。そして世界を旅した末に美波へ移住、昨年には町内で個展も開いた画家の磯中太志さん（山口県出身・日和佐浦）。３人それぞれの技術と個性、持ち味を活かし、デザイン事務所とアパレルショップ、コーヒーショップが一体となった施設が完成したのです。
一見「イマドキの若者」な彼らですが、祭りをはじめ町内会、消防団への参加など地域の活動でも積極的に頑張ってくれています。
美波町で芽生えた友情と、そこから生まれたこの新しい取り組みを、ぜひ皆さんも応援してください。

1階に店舗スペース、2階にドウゾノさんの株式会社まめぞうデザイン本社を構えた「at Teramae」。

コーヒーショップとギャラリーを運営する磯中さん。ゆったり柔らかな雰囲気の中、挽きたての本格派コーヒーがいただける。

1階のアパレルショップには、山崎さんのオリジナルブランド「HWS clothing」が。日和佐が好き過ぎての「HWS（=HiWaSa=日和佐）」なんだそう。

3月31日に行われたオープニングセレモニーでの一コマ。左から磯中さん、ドウゾノさん、山崎さん。

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館１階
由 岐 地 区：由岐ふれあいホール（ぽっぽマリン２階）